

ガウンを脱ぐ（介助者付き）手技（良い例・悪い例）

ちょっとカエルが
未来をカエル



感染症予防の
コツを取り入れよう

西区健康づくり事業キャラクター みらいカエル

意識をしていなくても正しい手技で行えるように、日々練習が大事です。

演習時には、2人1組で、悪い例のような手技になっていないか、確認し合いながら行うことをお勧めします。

○良い例○



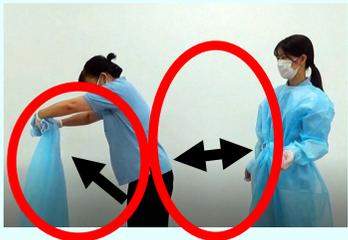
OK 介助者はできるだけ遠い距離で首元の紐をほどく(介助者の汚染のリスクを減らす為)



OK 介助者は汚染されたガウンが中表になるように、首元の紐を持って肩から腕にガウンを持っていく



OK 汚染されたガウンの表面が内側に来ている



OK 介助者は汚染されているガウンを着ていた人に近づかない
ガウンは、身体から離して丸める

×悪い例×



NG 介助者が近い距離で首元の紐をほどいている
(介助者が汚染される可能性がある)



NG 介助者が必要以上の介助を行う事で、介助者が汚染されるリスクが高くなる



NG 中表になっていない、丸めていない
ガウンを介助者に渡す事で、介助者が汚染される



NG ガウンをごみ箱に手で押し入れ、ガウンの紐が箱から出ている(箱の外が汚染される)